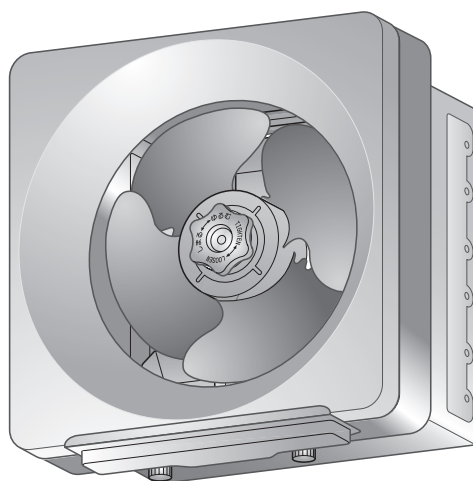


換気扇 取扱・取付説明書



もくじ

安全上のご注意.....	2・3
使用上のお願い.....	4
使いかた.....	5
各部のなまえ・製品寸法図.....	5
操作のしかた.....	5
お手入れのしかた.....	6～9
取りはずし・組み立てのしかた.....	7・8
お手入れのしかた.....	9
取り付けかた.....	9～12
1. 付属品の確認.....	11
2. 取り付け前の調査と準備.....	11
3. 換気扇の取り付け.....	12
故障かなと思ったら.....	13
仕様.....	14
アフターサービス.....	14
修理を依頼されるときは.....	15

販売店・工事店様へ：

この取扱説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

このたびはひも引き換気扇をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとはいつでも見られるところに大切に保管してください。

この説明書は再生紙を使用しています。

1702 6282



* 1 7 0 2 6 2 8 2 *

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



○ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



分解・修理
改造禁止

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと
火災・感電・けがの原因となります



プラグを
抜く

● お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、入/切しないこと
感電やけがをすることがあります



水かけ禁止

● 電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります



操作禁止

● ガス漏れのときは、スイッチを入/切しないこと
爆発・引火のおそれがあります



使用禁止

● 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因となります



取付注意

● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
火災などの原因となります



ほこりをとる

● 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと
火災の原因となります



取付注意

● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります



取付注意

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電することがあります

安全上のご注意

警告



給気注意

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になる所には取り付けないこと
火災・故障の原因となります

注意



プラグを持って抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります



プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります



運転停止

- 調理中、油に火がついたときは、運転を止めること
運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です



取付注意

- ファンや部品の取り付けは確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



手袋をする

- 取り付けの際やお手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



接触禁止

- 調理中は、ファンやオイルパックなど周辺の部品に手を触れないこと
部品が落下して、やけどやけがをすることがあります



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



落下注意

- 部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります



使用禁止

- 本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと
本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります



取付注意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下によりけがをすることがあります



禁止

- 換気扇の上に物を置かないこと
落下してけがをしたり、火災や故障の原因となります



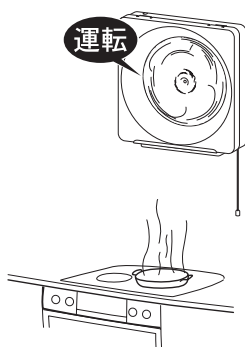
取付禁止

- 天井には取り付けないこと
落下によりけがをすることがあります

使用上のお願い

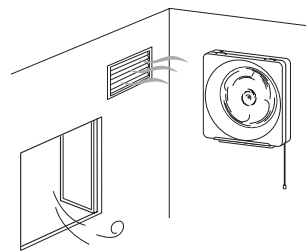
- 調理器具を使用するときは、必ず換気扇を運転してください

運転しないと換気扇の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります



- 換気扇の運転中は給気をおこなってください

換気扇反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します



- 部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります

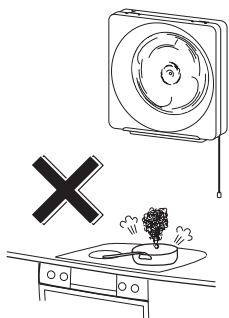
換気扇近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

- エアコンの風が直接あたらないようにしてください

風を受けると、吸い込みが悪くなります
オープンな場所では特に換気扇から漏れやすくなります

- 調理器具の空焚きは絶対にしないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因となります



- 市販のフィルターを取り付けて使用しないでください

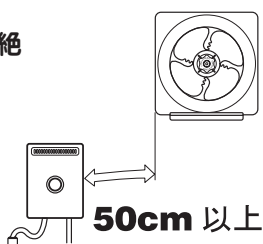
吸い込みが悪くなり、本来の性能が発揮できなくなる場合があります



- 湯沸器は換気扇から 50cm 以上離してください

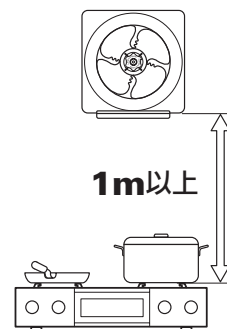
換気扇の下部には湯沸器を絶対に取り付けしないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因となります



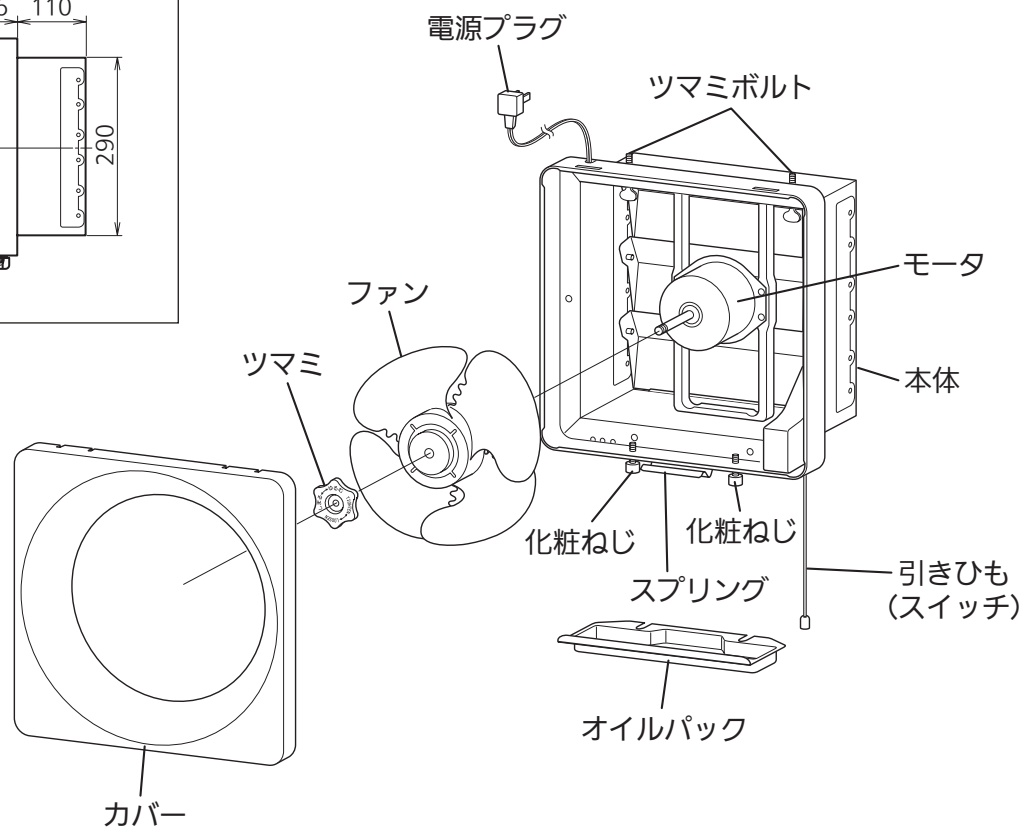
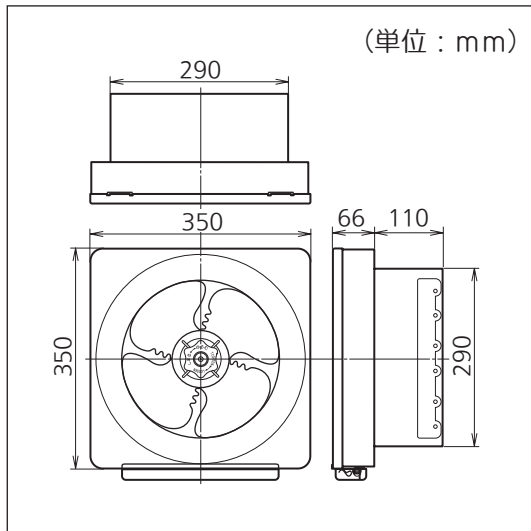
- 調理器具の真上、1 m 以上に取り付けてあるか確認してください

火災予防のため、製品の下端から調理器具の真上まで 1 m 以上必要です



使いかた

各部のなまえ・製品寸法図



操作のしかた

スイッチの引きひもを引いてください。
引きひもを引くたびに、運転・停止が切り替わります。

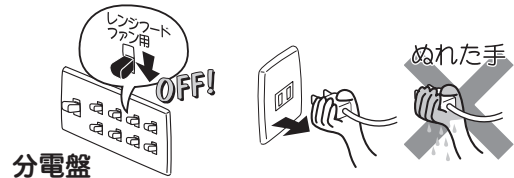
お手入れのしかた

警告



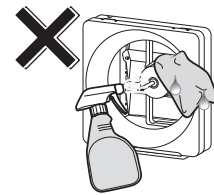
プラグを
抜く

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、入/切しないこと
感電やけがをすることがあります



水かけ禁止

- 電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります

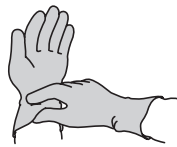


注意



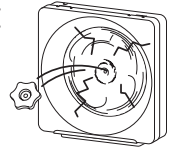
手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります



取付注意

- お手入れの際にははずしたファンや部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをすることがあります



お手入れの際のお願い

- おそうじはこまめにする
・ 本製品は汚れを落ちやすくするため製品表面にコーティング材を塗布しています。油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油でコーティング面が変質して塗装はがれの原因になります。
【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】

- 中性洗剤を使う
・ おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますとコーティング面が変色したり、キズがついたり、はがれたりすることがあります。
汚れがひどく、アルカリ性合成洗剤が使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

換気扇の油汚れ落としに最適な、弊社推奨の弱アルカリ合成洗剤「サットレールスプレー」、「サットレールシート」があります。
お問い合わせは裏表紙をご覧ください。



- 熱湯は変形のもと
・ 60℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形することがあります。
- ファンを変形させない
・ ぶついたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生することがあります。
- ファンをはずした状態では運転しない
・ ファンをはずした状態で運転しないでください。モータが過熱して故障の原因になります。

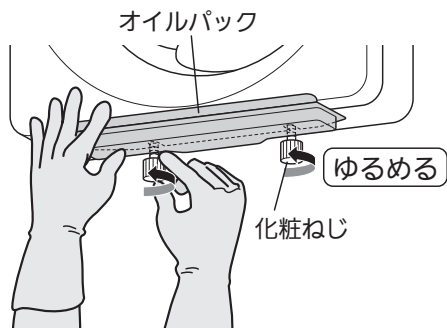
お手入れのしかた

取りはずし・組み立てのしかた

■オイルパック

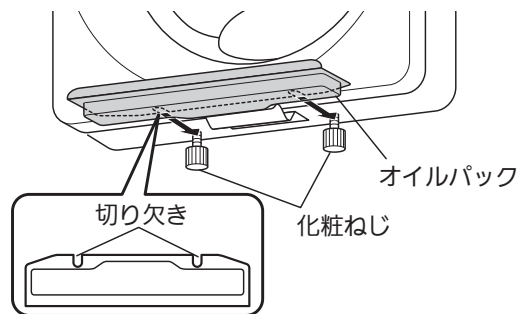
はずしかた

化粧ねじ2本をゆるめ、オイルパックを手前に引き出します。



取り付けかた

オイルパックの切り欠きを化粧ねじに合わせて突き当たるまで差し込んだあと、化粧ねじ2本を締め付けます。



お願い

●ご使用の状況により油がたまらないことがありますが、異常ではありません。

■ファン

はずしかた

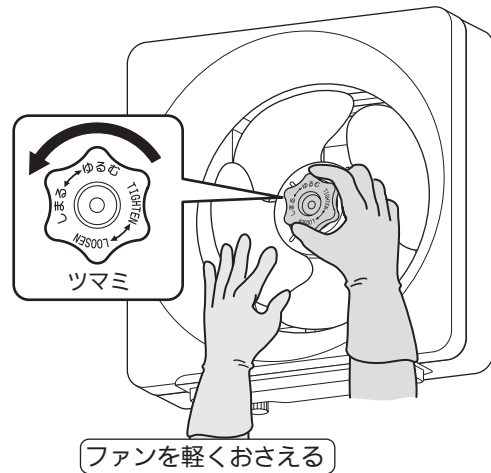
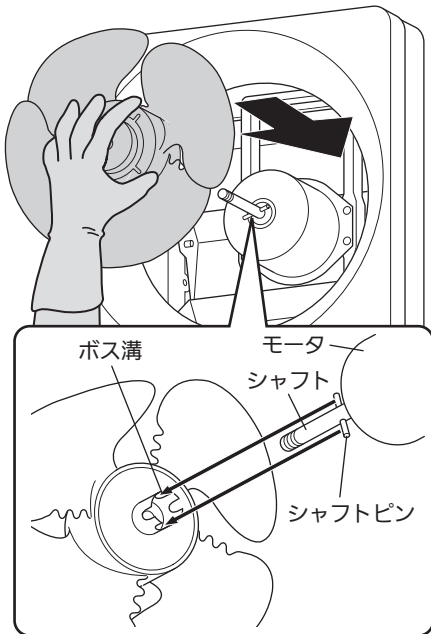
ファンが回らないように軽く手で押さえ、ツマミを「ゆるむ」(時計回り)の方向に回してはずしたあと、ファンを手前に引き出します。



お手入れのしかた

取り付けかた

- 1) ファン裏面の溝がモータのシャフトピンに合うように差し込みます。
- 2) ファンが回らないように軽く手で押さえ、ツマミを「しまる」(反時計回り)の方向に回して締め付けます。



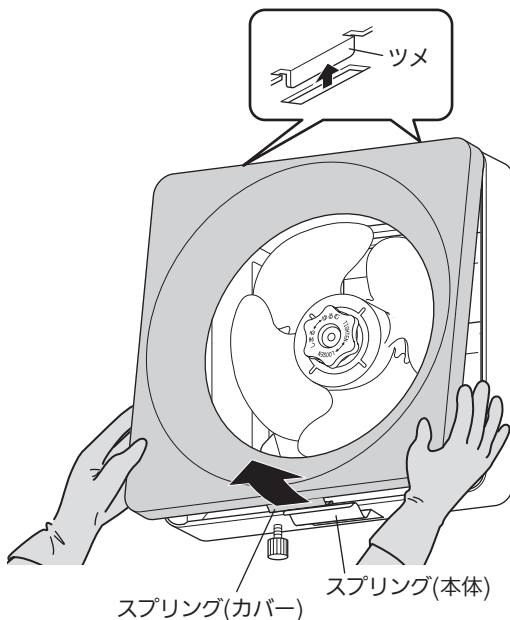
お願い

- ファン裏面の溝がシャフトピンに合うよう確実に差し込んでください。(溝がシャフトピンに合っていないと異常音や落下によりケガをするおそれがあります。)

■カバー

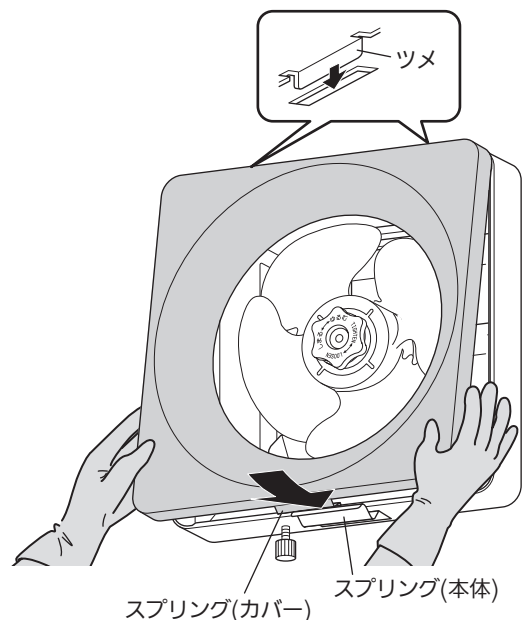
はずしかた

カバー下部を少し手前に引き、上に持ち上げて上部のツメ2ヶ所を抜いてはずします。



取り付けかた

上部のツメ2ヶ所を角穴に入れ、下部をスプリングに押し込んで固定します。



お手入れのしかた

お手入れのしかた

取りはずしのしかた、組み立てのしかたは7～8ページをご参照ください。

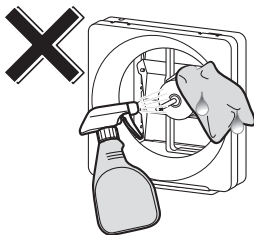
警告



水かけ禁止

- 電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと

ショート・感電のおそれがあります

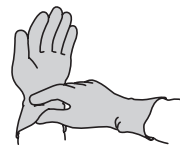


注意



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



こまめにおそうじしてください。

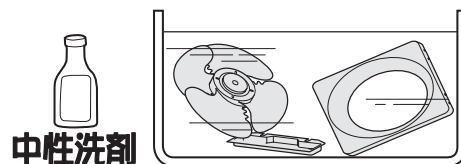
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油でコーティング面が変質して塗装はがれの原因になります。

早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

■ オイルパック・ファン・カバー

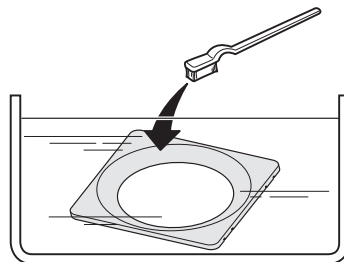
（汚れたらその都度お手入れしてください。目安：1ヶ月に1回程度）
中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち、表面のやわらかい布やスポンジなどで洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



中性洗剤

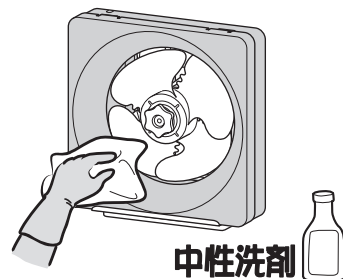
※ 特に汚れのひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に1時間ほど浸したあと、歯ブラシ等でこすると汚れが落ちやすくなります。



■ 本体

（汚れたらその都度お手入れしてください。）

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと洗剤がのこらないよう、清水で湿らせた布で洗剤をよくふきとってください。



中性洗剤

※ 電源プラグを抜いた場合は、完了後電源プラグを差し込んでください。
ブレーカを切った場合は、ブレーカを入れてください。

取り付けかた

警告



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電することがあります



給気注意

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
火災などの原因となります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になる所には取り付けないこと
火災・故障の原因となります



取付注意

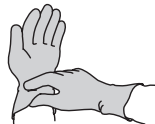
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります

注意



手袋をする

- 取り付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



落下注意

- 部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります



取付注意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下によりけがをすることがあります



使用禁止

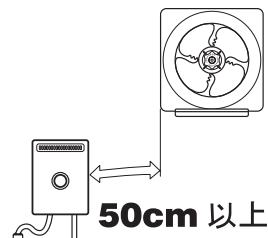
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります



取付禁止

- 天井には取り付けないこと
落下によりけがをすることがあります



- 湯沸器は換気扇から 50cm 以上離してください
換気扇の下部には湯沸器を絶対に取り付けしないでください
製品の損傷や高熱による故障の原因となります



取り付けかた

1. 付属品の確認

梱包箱から付属品を取り出し、右表により不足がないか確認してください。

付 属 品	
品 名・数 量	略 図
ツマミボルト (2本)	
木ねじ (φ 4.1 × 16) (4本)	

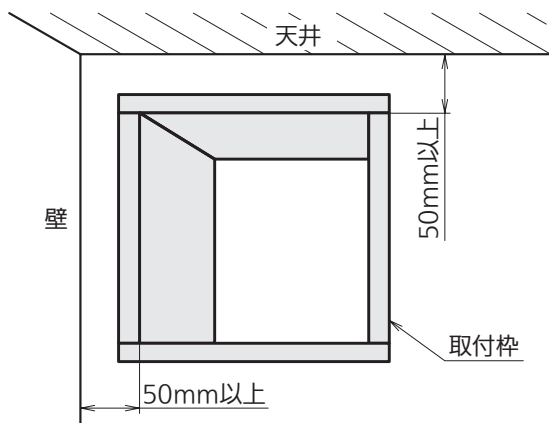
2. 取り付け前の調査と準備

1 換気扇の取付位置を確認します。

天井面および壁面からの距離

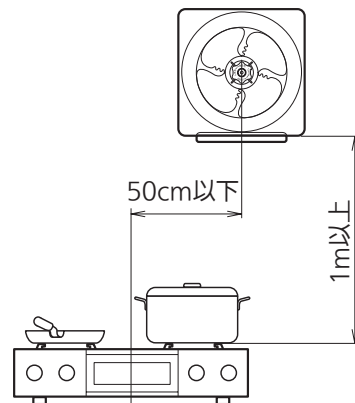
天井および壁面から 50 mm 以上離れた位置に換気扇が取り付けられるように取付枠を設置してください。

※ 取付枠の寸法、板厚等については次項をご覧ください。



調理器具との位置関係

左右方向は換気扇の中心から調理器具の中心までが 50 cm 以内、上下方向は調理器具の上面から換気扇カバーの下端までが 1 m 以上となる場所に設置してください。



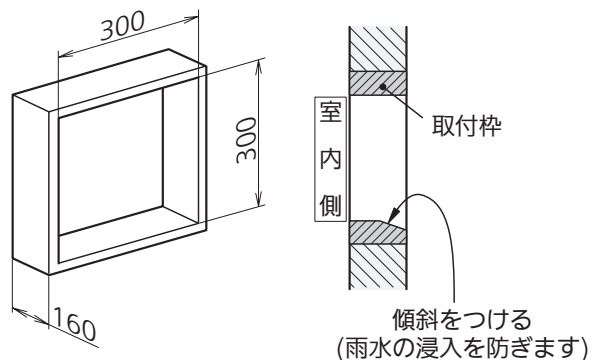
2 壁面に取付枠を取り付けます。

1) 取付枠は内寸法 300 mm × 300 mm のものをお使いください。また、取付枠は 20 mm 以上の不燃材を使用してください。

2) 取付寸法に合わせて壁面に穴を開けてください。

3) 取付枠を壁に取り付け、しっかりと固定してください。

(固定が不十分ですと騒音や雨漏りの原因となりますのでご注意ください)



取り付けかた

3. 換気扇の取り付け

1 換気扇を梱包箱より取り出し、部品をはずします。

オイルパック・ツマミ・ファン・カバーの順に部品をはずします。

※ 各部品のはずしかたについては「取りはずし・組み立てのしかた」(7~8ページ)をご覧ください。

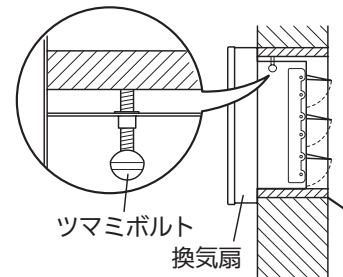
お願い

● 換気扇本体背面にはシャッターロック機構がついていますが、無理に手でシャッターを開かないでください。シャッターが変形し、故障や異音の原因となります。

2 換気扇を取付枠に固定します。

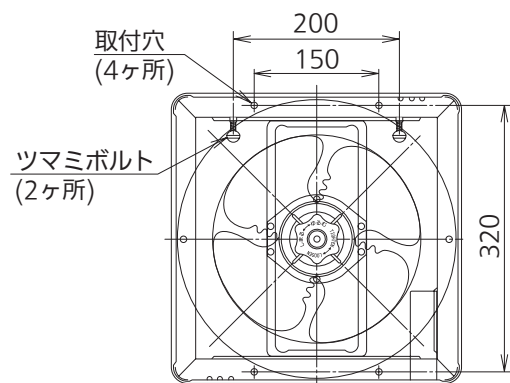
換気扇本体を取付枠にはめ込み、換気扇本体
内側から付属のツマミボルト(2本)または
木ねじ(4本)のいずれかで固定してください。

※ ツマミボルトおよび木ねじの各固定位置
は右下図を参照してください。



お願い

● 取り付け後、ガタツキがないことを確認して
ください。



3 カバー・ファン・ツマミ・オイルパックの順で
部品を取り付けます。

※ 各部品の取り付けかたについては「取りは
ずし・組み立てのしかた」(7~8ページ)
をご覧ください。

4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

交流 100 Vのコンセントに差し込んでください。

5 試運転をします。

引きひもを引いて換気扇を運転し、異常な振動や騒音等がないか、またシャッターが開いているか確認してください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに 次の点をもう1度お調べください。

症 状	考えられる原因	処 置
● ファンがまわらない。	● 分電盤のブレーカが「切」になっている。 ● 電源プラグがはずれている。	● 分電盤のブレーカを「入」にする。 ● 電源プラグを差し込む。
● 異音や振動・騒音がする。	● ファンのツマミがゆるんでいる。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● ファンが汚れている。 ● 外からの給気が十分でない。	● ファンのツマミを締め直す。 ● ファンを取り付け直す。 (8ページ参照) ● ファンのお手入れをする。 (9ページ参照) ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。

仕様

型名	定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)	騒音 (dB)	製品質量 (kg)
VH-25B1	100	50	39	860	39	3.7
		60	41	880	41	

- 消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。
 - 騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。
- ※使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス (必ずお読みください)

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において1年間です。ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - (1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
 - (2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

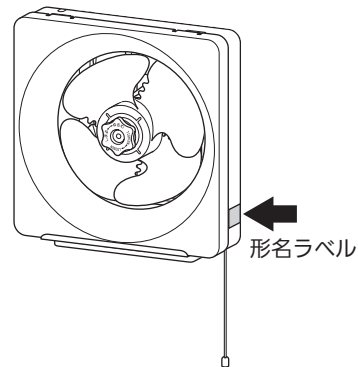
修理を依頼されるときは

13 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	換気扇
型名	VH-25B1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくことでサービスを依頼される時に便利です。

型名は本体の右側面に表示してあります。



★長年ご使用の製品の点検を

愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】 本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】 10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件

日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz 又は/及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取扱・取付説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	取扱・取付説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)}	
		台所 2 410時間/年	
注 a) 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8 760時間/年とする。			

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社 (以下「当社」) は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報 (以下「個人情報」) を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼される時は、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

	購入店名	電話	()
お客様メモ	(システムキッチンメーカー名 :)
	ご購入年月日	平成	年 月 日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』のお取り扱い窓口は
フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ ☎0120-227-266
FAX 042-768-3383
ホームページ <http://www.fuji-tech.jp/>
受付時間 9:00~17:45 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)

〔製造元〕 富士工業株式会社
〒229-0006 相模原市淵野辺2丁目1番9号

お客様ご相談窓口 ☎0120-071-686
受付時間 9:00~18:00 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)